

前衆議院議員

もと ひさ

# 池田元久

民主党神奈川県第6区総支部・池田元久横浜事務所  
〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-30 TEL.045-371-1000 FAX.045-374-0100

前衆議院議員 池田元久  
の活動報告



民主党国会対策委員会

インターネット

よく分かる郵政民営化論 Blog版より(抜粋で引用)

小泉さんと党を挙げて郵政民営化を支援する公明党の関係は？

郵政民営化に対して党を挙げて賛成しているのが、「(生命・生活・生存)の人間主義」「生活重視の文化・福祉国家」を目指している公明党だけとは、非常に皮肉な感じがします。

【更新日時2005/04/01】

公明党が弱者切り捨て政策を支持する理由

(郵政民営化で)、まずやらなければならないのは、銀行並の富裕層を優遇したATM手数料の導入や送金手数料の値上げと口座管理手数料の導入です。

そうなれば、経済的弱者は預金するのに金利以上の手数料を支払わされることとなり、銀行に口座をもつことができなくなってしまうのです。

つまり、金持ちは優遇され、貧乏人からは手数料を徴収するという弱者切り捨て社会になっていくのです。

確かに小泉政権になってから負け組、つまり、弱者は格段に増えて公明党にとっては有利になったのかもしれませんが……

【更新日時2005/06/09】

小泉首相が「郵政民営化法案」を参議院で否決されたからといって衆議院を解散したのは解散権の乱用といわれても仕方がない。それによりさらに政治空白が続き、多額の総選挙の行政費用もかかる。しかし、解散総選挙は、混乱し行きづまった自公政治を変える絶好の機会だ。

現在、国民、有権者が直面している課題は何か。公明党が百年はもつとってきた年金制度の手直しは早くも「ご破算」に迫られ、自民、公明両党は何ら改革案を打ち出せないでいる。道路公団の汚職に見られるように税金の無駄づかいが目に見える一方で、サラリーマンを直撃する大増税計画が明らかになった。さらに、日本はアジアで孤立し、国連の常任理事国入りは絶望的になり外交は八方ふさがりだ。

しかし、小泉自民、公明内閣はこの二年近く「郵政」一歩点張りて迷走を続けてきた。その間、年金制度の抜本改革や税金の無駄づかいと財政再建、さらに外交の立て直しなど直面する課題の解決をなおざりにしてきた。「自民、公明両党は、政権を維持しようというのなら、日本が直面する懸案について処方箋を明確に示さなければならぬ」(読売十二日社説)といわれる始末だ。

民主党は、年金を一元化し二階建ての長続きする年金制度をつくり、三年間で十兆円の税金の無駄づかいをなくしてゆく。さらに、「協力すべきは協力し、言うべきは言う」自立した積極的な外交を展開してゆく。国民にとって重要な政府の仕事を取り戻してきた自民公明政権に終止符を打つときが来た。今こそ総選挙で日本の将来と国民のくらしに責任をもつ民主党政権を一緒につくってゆこうではありませんか。

## 「年金」「税金」「外交が争点」仕事放棄の自公内閣を変えよう

### 今どき変えたい IKEDA MOTOHISA PROFILE

◆ 好きな色：鮮やかなブルー。碧い海を連想させるから

◆ 好きな花：バラと蘭。自らも栽培していた。

◆ 好きな言葉：鮮やかなブルー。碧い海を連想させるから

◆ 好きな言葉：鮮やかなブルー。碧い海を連想させるから

神奈川県生まれ。県立湘南高校を経て、早稲田大学政治経済学部を卒業。NHKに入り、報道局政治部記者。官邸、衆議院各党、各省を担当し数多くのスクープを重ね活躍。九〇年旧神奈川県四区から衆議院議員に初当選。空域封鎖下のイラクを訪問し人質の解放を交渉。水源地の道志村ゴルフ場計画を断念に追い込む。九六年の総選挙で神奈川県六区(保土ヶ谷区、旭区)から当選。現在衆議院議員四期目。外務委員長、予算委員会副委員長、五委員会の理事、民主党の国際局長などを歴任。神奈川県経営学部講師も務める。

